



平成30年度 立佞武多の館美術展示ギャラリー特別企画展
「中村晋也とサン・ジャック女流彫刻展」
オープニングセレモニー

主な
内容

第2回定例会の概要 …… 2～3
 一般質問 …… 4～7
 予算特別委員会 …… 8
 討 論 …… 8

第3回臨時会 …… 9
 黒星病被害状況視察 …… 10
 議決結果表 …… 10～11
 政務活動費収支報告 …… 11

次回定例会の予定 …… 12
 議員表彰 …… 12
 編集後記 …… 12

平成30年 第2回定例会

新議場での最初の議会となる第2回定例会が、5月31日から6月14日までの15日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成30年度一般会計補正予算（第1号）など、市長から提出された議案15件を原案のとおり承認、可決、同意しました。

また、請願1件については、不採択としました。

専決処分の承認

○五所川原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正

厚生労働省令に基づき指定地域密着型サービスの事業に関する基準を改正したほか、事業者の指定に関し、暴力団排除条例の規定を追加するものです。

○五所川原市税条例等の一部改正 主な改正内容

①個人市民税

平成33年から給与所得控除・公的年金等控除から基礎控除への振替をし、及び基礎控除額に所得要件を設けるほか、個人市民税の非課税範囲の見直しを行うものです。

**給与所得控除・公的年金等控除→▲10万円
基礎控除→+10万円**

②固定資産税

平成30年度から生産性向上特別措置法の規定に基づく中小企業の設備投資の支援のための措置を講じるほか、価格の変動に伴う負担調整措置及び新築住宅等の減税措置の延長をするものです。

③市たばこ税

平成30年10月から段階的に税率の引上げ及び加熱式たばこの課税方式の見直しをするものです。

○五所川原市国民健康保険税条例の一部改正 主な改正内容

平成30年度から基礎課税額の上限額を54万円から58万円に引き上げるほか、軽減判定に用い

る被保険者及び特定同一世帯所属者一人あたりの加算額を次のとおり改めるものです。

5割軽減判定の場合27万円→27万5千円

2割軽減判定の場合49万円→50万円

○五所川原市都市計画税条例等の一部改正 主な改正内容

価格の変動に伴う負担調整措置及び新築住宅等の減税措置の延長をするものです。

補正予算

○平成30年度一般会計補正予算（第1号） 【補正額 △930万7千円】

主な事業

・コミュニティ助成事業（250万円）

一般財団法人自治総合センターの助成金を活用し、田園町町内会のコミュニティ活動備品の整備をするものです。

・生活保護適正化等事業（162万円）

生活保護システムの改修を行うものです。

・働く婦人の家管理費（114万8千円）

老朽化に伴い、働く婦人の家1階オープンスペースの壁タイルを補修するものです。

・防雪柵整備事業（500万円）

浅井境山線の防雪柵を整備するものです。

・金木中里消防署統合事業（1,713万6千円）

金木消防署と中里消防署の統合に伴う、五所川原地区消防事務組合への負担金です。

※上記のほか、国からの補助金の減額に伴う事業費の見直しにより、補正予算全体では930万7千円の減額となっています。

条例

○附属機関に関する条例の一部改正

児童福祉法の改正に伴い、五所川原市障害者計画・障害福祉計画策定委員会の名称及び担当する事務を改めるほか、字句の整理等をするものです。

○重度心身障害者医療費支給条例の一部改正

高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴い、住所地特例の要件を改めるほか、字句の整理等をするものです。

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童クラブ支援員の基礎資格等の対象を拡大するほか、教員免許の更新を受けていない場合の取り扱いを明確化するものです。

その他

○工事請負契約の締結

一般廃棄物最終処分場建設工事
工事場所 金木町喜良市小田川山地内
契約金額 25億7,040万円
契約の相手方
齋勝・水道特定建設工事共同企業体

○財産の処分

処分する財産 土地
所在地 大字金山字亀ヶ岡74番1
地目 宅地
地籍 8,276.10㎡
契約価格 3,310万4,400円
契約の相手方 弘前市大字豊田三丁目5番地1
弘前倉庫株式会社
代表取締役 大水 達也

○財産の取得

財産の名称 グレーダ除雪車
数量 1台
契約金額 2,300万4,000円
契約の相手方
青森市大字野木字野尻37番地31号
日本キャタピラー合同会社 青森営業所
支店長 阿部 徹弥

○市道路線の認定

道路の寄附採納により、一野坪11号線、225.5mを市道路線として認定するものです。

人事案件

○教育長

なが お たか き
長 尾 孝 紀 氏
(野里 再任)



長尾教育長は任命議案可決後のあいさつで、「いつの時代も教育の営みは人づくりであり、新しい時代を主体的に切り拓いていく子どもたち一人ひとりを育てることであるということを常に念頭に置き、これまでも不易とされてきた時代を超えて変わらない価値のあるものに加え、新しい時代にしっかりと対応する力を子どもたちに身につけさせるため、市長部局と連携を図りながら、精一杯職責を全うしてまいります」と述べました。

長尾教育長の任期は、平成30年6月23日から3年間です。

○教育委員

き むら よし ゆき
木 村 吉 幸 氏 (新町 再任)

○十三財産区管理会財産区管理委員

や もと よし ひろ
矢 本 良 博 氏 (再任)

請願

○治安維持法犠牲者国家賠償法の制定について 国への意見書の提出に関する請願

国家賠償法を制定し、治安維持法犠牲者に対する謝罪と賠償等を行うよう、国に意見書の提出を求める請願ですが、委員会の審査では、過去6回当市議会で不採択とされてきたという議会の意思決定を考慮すれば、これまでと同趣旨の本請願については賛同しかねるため不採択とすべきものであるとの意見があり、委員会及び本会議での採決の結果、**不採択**となりました。



一般質問

6月4日及び5日に、9名の議員が市政に対する一般質問を行いました。
議会だよりでは、質問順に主な質問と答弁の内容を要約して掲載いたします。

※一般質問の様子は議会インターネット中継でご覧になれます。

議会インターネット中継ページ <http://www.goshogawara-city.stream.jfit.co.jp/>



インターネットの中継ページの
QRコード



市民の会
木村 清一

工事請負契約の締結について

問 芦野公園桜松橋改修工事の延長について、昨年12月議会の建設部長答弁では3月中には完成するということがあったが、延期になった理由は。

答 芦野公園桜松橋は、橋の上からの桜と湖面が織りなす絶景が楽しめる憩いの場となっているが、改修工事の完了時期が遅れ、桜まつりに通行できず、通行を楽しみにしていた観光客や公園利用の皆様には改めてお詫びを申し上げます。
改修工事は、平成30年3月25日を工期として進めてきたが、つり橋を支えるワイヤーケーブルや橋の通路床材を受けるアルミ部材の納入が遅れ、その後の工程に進むことができなかったことから延長したものの。

光熱費の契約について

問 平山市政が誕生してから新築された建物で、都市ガスを使用している建物はどのくらいあるのか。

答 平山市政誕生後に建設された都市ガスを使用している建物は、平成21年度完成の五所川原第一中学校、平成24年度完成の五所川原地区消防事務組合が建設した消防本部・五所川原消防署庁舎、平成25年度に完成した中央小学校、平成25年度完成のつがる西北五広域連合が建設したつがる総合病院の4施設である。



至誠公明会
木村 慶憲

市民プール廃止について

問 小中学生の水泳教室に対する影響はないか。

答 当市の小学校では、プールのない学校でも外部施設を利用して全ての小学校で水泳の授業が実施されているが、旧市民プールの使用はなかった。

中学校は6校全てで水泳の授業が行われていない。中学校学習指導要領の水泳の取扱いについては、1学年及び2学年において必修となっているが、適切な水泳場の確保が困難な場合には、これを扱わないことができることとなっている。ただし、水泳の事故防止に関する心得については必ず取り上げることになっており、全ての中学校で保健体育の時間に学習している。

教員の働き方改革について

問 「スクール・サポート・スタッフ」の配置の現況と今後の見通しについて

答 県教育委員会では、スクール・サポート・スタッフ配置事業を今年度実施しており、各教育委員会から推薦された6校を研究実践校として1年間指定し、スクール・サポート・スタッフの配置効果について検証することとしている。今年度、当市の学校は研究実践校の指定は受けておらず、現在のところスクール・サポート・スタッフは配置されていない。

このスクール・サポート・スタッフの配置は、教員がより児童生徒への指導や教材研究などに力を注ぐことができるようになり、児童生徒一人ひとりに合わせた細やかな対応が可能になることが期待されるので、国の動向や県教育委員会による今年度の検証結果を注視し、教職員の多忙化解消に向けて検討してまいりたい。



市民の会
伊藤 永慈

地域防災計画における防災行政無線の役割について

問 防災行政無線は今後どうなるのか。

答 地域防災計画には、防災情報の伝達手段として防災行政無線が記載されている。

地域防災計画は平成30年度内に改定作業を終了するが、その過程において防災会議で審議する予定である。

市内のコミュニティFM局の電波を使用する災害情報新システムについて

問 コミュニティFM局、FM五所川原の防災ラジオ整備に必要な費用と整備計画について

答 防災ラジオを市の資産として無償で市内各家庭、約2万5,000世帯に貸与した場合、約3億円と試算しており、その財源は緊急防災・減災事業債の対象となる。一方、他自治体の導入事例を見ると、費用の一部または全額を負担いただき個人の資産とする場合もあるが、その場合は起債の対象外となる。

今後、他自治体の導入例や国の財政支援措置の状況等を考慮しながら検討する。



市民の会
山口 孝夫

市民の健康について

問 当市のがん患者数、がん死亡者数の状況について

答 平成24年のデータでは、当市のがん患者の状況は、罹患者数は552名で、人口当たりの割合は0.96%となっており、県内10市では2番目に多く、県平均0.81%を上回っている。

がん死亡者数は、平成26年で231名、人口当

りの割合は0.41%となり、こちらも県内10市において2番目に多く、県平均の0.38%、全国平均の0.30%を上回っている。

つがる総合病院の平成28年度のがんと診断された患者数は、1,435名で、多い順では大腸がん、胃がん、肺がんとなっている。また、抗がん剤による化学療法の件数は、外来が3,001件、入院が807件となっている。

問 がん検診におけるPET-CT検査の導入について

答 つがる総合病院建設時の医療機能の検討では、圏域の特徴的疾患である脳血管疾患、心疾患、がん診療体制の充実を図ることとされ、PET-CTも候補に挙げたものの、より需要の高かった3テスラMRI装置、320列CT装置、血管造影撮影装置の整備が優先された。

PET-CTを導入する場合、PET-CT装置に約3億円、検査棟の建設工事に約8億円を要すると見込まれる。今後の導入については、病院側でもこれから考えていくというようなことで伺っている。



日本共産党
花田 進

新庁舎について

問 庁舎建設事業費はいくらで、財源はどのように確保したのか。執務室への市民入室禁止はなぜか。正面玄関の表示がなく分かりづらい。

答 本庁舎整備事業費は概算で、公有財産購入費等が1.8億円、旧西北病院と旧庁舎の解体費用が13.1億円、新庁舎と公用車車庫の建設費が68.7億円の合計83.6億円であり、財源としては、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金、合併特例債、一般財源を充当している。

執務室への市職員以外の入室制限は、個人情報保護対策として実施している。

正面玄関の表示は、当面簡易な表示で対処しているが、今後ユニバーサルデザイン的な表示をかけていきたい。

学校給食費について

問 給食費無料化の提案に対し、財源がないと拒否してきたが、市長選で両候補が施策に掲げている。無料化へのアプローチを示すべきである。

答 年間1人当たり給食費は、小学校で約4万8千円（一食243円）、中学校で約5万円（一食262円）である。

全体では、小学校で約1.7億円、中学校で約7千万円である。このうち、要保護及び準要保護など他の制度で充当される額を除くと、小学校で約9千万円、中学校で約6千万円の計1.5億円となっている。

現時点では、給食費の完全無料化は相当困難を生ずるものと考えている。



社会民主党

井上 浩

新庁舎機能について

問 新庁舎での行政資料スペースと市民の土間ホールを中心とした空間の動線の考え方について

答 市民に市政をより深く理解していただくことを目的に、新庁舎では1階の市民の土間の南西角に行政資料スペースを開設している。ここでは市が作成した各種行政資料を自由に閲覧することが可能であり、複写が必要な場合は近くにコピー機も備え付けている。

また、1階の窓口を利用する来庁者と動線を分けたことにより、落ち着いて閲覧できるものと考えている。外が見えて、ある程度遮断されいながら光も入ってくるということで、階段の下ではあるが適当と考え設置した。



新庁舎1階の行政資料スペース

市長室の配置について

問 市長室入口を常時開放する等、開かれた市長室を目指すべきでないか。

答 秘書課の待合ロビー入口の自動ドアは、設計当初は開放したまま使用できない両開きドアであった。ドア設置が必要な理由は、建築基準法上で遮音・耐火空間となっているため、現在は来庁者の出入り方法の改善が図られたものと認識している。

市民に開かれた市長室とすべきとの議員提言について、どのような方策があるのか関係課と協議・検討し、その実現へ向けて改善していく。

市長室と防災本部の機能は、市長室、庁議室、会議室と関係が必要なため、切り離しはできないものと考えている。



至誠公明会

平山 秀直

UIJターン若者就職奨励推進について

問 当市の利用状況はどうなっているか。また、今後の見通しについて伺う。

答 本事業の交付実績は、平成28年度が5名で対象者の就業先は五所川原市、弘前市、つがる市の民間企業及び社会福祉法人、平成29年度は8名で、五所川原市、青森市、弘前市、中泊町の民間企業となっている。

今年度からは新たに「ごしょぐらし仕事情報まるわかり事業」として、本市への移住希望者が移住後の生活を具体的にイメージできるよう、市内企業を例とした働き方を記載したパンフレットを製作し、移住フェア等で周知、配布するなど積極的な広報活動を実施する。

子育て支援について

問 乳幼児医療費助成の今後の拡充について

答 仮に中学生までを対象とする場合は一般財源で8,600万円の増加となるが、本市の財政状況は財政調整基金の残高等に示されているとおり決して余裕のあるものではない。加えて、平成31年度では合併算定替えの縮減により、普通交付

税で1億円程度の減額が見込まれるなど、引き続き財政規律を堅持していかなければならないが、時代とともに変化する行政需要に対応して、時には未来を見据えることも必要ではないかと考えている。

子育て支援に向けた取り組みを今後どのように展開し、限られた財源をどう振り分けていくべきか、検討を続けてまいりたい。



至誠公明会
福士 寛美

児童が遭遇する事件について

問 児童の安全確保に対し、見守り活動の実態と不審者情報の実情について

答 児童生徒の見守り活動については、PTA、防犯協会、地域住民のボランティアにより実施されている学区もあるが、地域差があり、今後地域を挙げた支援体制の構築が必要と考える。

また、住民協議会、民生委員、児童委員と連携、情報の共有を図り、児童の安全確保に取り組んでいく。

不審者情報の実情については、警察署を通して西北教育事務所から教育委員会に情報提供があったのが、平成29年度は28件、今年度は5月末までに児童生徒への声かけが3件あった。

問 防犯灯と防犯カメラ設置の実情と今後の対応について

答 今年12月中旬までに防犯灯をLEDに交換する予定であり、通学路を含め防犯上設置が必要な箇所は、現場を確認の上防犯灯を設置する。

防犯カメラの当市の設置数は6カ所で、近年の児童誘拐殺人事件、通り魔事件など地域の安全を見守る視点からは不十分と認識している。防犯カメラ設置後は、自転車盗難の減少、犯罪捜査への有効利用等の実績があり、今後通学路への設置も視野に入れ、五所川原地区防犯協会と連携して取り組んでいく。



至誠公明会
松野 武司

経済活性化について

問 五所川原市産業振興促進計画の成果や今後の活性化策について

答 農業分野では、経営体育成支援事業費補助金により農業生産機械を導入した件数が14件、野菜等産地強化総合対策事業費補助金によって耐雪型パイプハウスを導入した件数が5件、また、農業次世代人材投資資金により、3年間で17名以上の新規就農者が創出されている。

水産業では、青森県の十三漁港整備や十三漁協の荷さばき施設整備、市のシジミ冷凍施設整備により事業環境が整ったところである。

製造業では、国のものづくり・商業・サービス新展開支援補助金等により生産設備等を導入したものが8件あった。

今後は引き続き外発的な企業人材の誘致と内発的な起業、創業を促進することで、地域産業全体の振興と新たな働く場の創出を図ってまいりたい。

行政改革実施計画について

問 取り組んできた成果は。

答 成果の1つとして、公共施設等総合管理計画の策定が挙げられる。当該計画は人口減少時代を見据え、財政負担を軽減、平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実現するために策定され、現在は各担当部署で具体的な個別施設計画の策定が進められているところである。

2つ目として、新地方公会計基準による財務諸表整備の一環として、中長期的な財政運営にも活用できる固定資産台帳の整備を行い、現金主義では見えにくいコストやストックを把握したところである。

本計画は期間半ばであり、今後も行政改革を進めていくということ考えている。

予算特別委員会

6月6日に13名の議員で設置された予算特別委員会は、委員長に**木村 博委員**、副委員長に平山秀直委員を選任し、翌7日に一般会計補正予算（第1号）について審査を行いました。

委員会審査では、質疑もなく、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

討 論

第2回定例会最終日に、総務常任委員長及び民生常任委員長の報告に対して討論がありましたので、その内容を掲載いたします。

○工事請負契約の締結について （一般廃棄物最終処分場建設工事）

反対 社会民主党 **井上 浩**

廃棄物処理施設建設工事の入札・契約の適正化が社会問題化してから10年を超える歳月が過ぎ去ったが、相も変わらず談合問題が社会の話題から消えることはない。それどころか、深まる政治や行政に対する不信から、より一層公正で公明な入札・契約を求めるニーズは高まる一方だと私は感じている。無論、今回の当市の事例で談合があったのか否かは、当該3社にしかわからないが。

そこで議会としてチェックせねばならないのは、発注者である市が、価格に見合った、より良い質の調達をしているのか、その前提として費用対効果の高い廃棄物処理施設建設工事を実施できるよう、ここ10年ほどの間に入札・契約方法を見直し、改善に取り組んできたのか否かだと私は考えている。残念ながら一層の努力を求めざるを得ない。市民への説明責任を果たして業者との本契約に進むべきであり新市長の下での再考を促す意味を含めて、現段階での提案に反対する。

○治安維持法犠牲者国家賠償法の制定 について国への意見書の提出に関する 請願

採択 日本共産党 **花田 進**

治安維持法によって政府が行った拷問を許すのか。虐殺を許すのか。アジアの諸国民を含め多くの犠牲を出したあの戦争に命をかけて反対した人たちがいたことは、今生きる人たちに勇気を与え

るものである。

全国では406を超える自治体が、この請願を採択している。当市議会でも、戦争に反対した先人達の勇気に答える意味でも採択することを希望する。

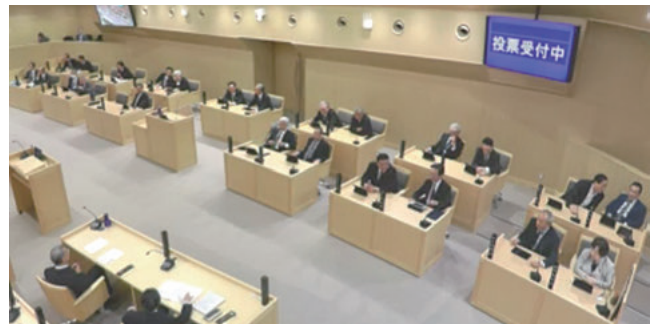
犠牲者は高齢で時間が残されていない。今生きている間に政府が謝罪をして名誉を回復させ、賠償を行うべきである。

電子表決システムを導入しました

新議場では、採決の際に賛成または反対のボタンを押す電子表決システムを導入しました。同システムの導入は、県内の市議会では初めてとなります。

6月定例会では3件の議案について電子表決システムによる投票を行いました。

これまでの起立による採決及び投票用紙による投票に代わりシステムを活用することにより、議員の賛否の明確化と議事の迅速化が図られることとなります。



電子投票の様子

平山市長あいさつ



第2回定例会の閉会にあたり、今回の議会が任期中最後の議会となった平山誠敏市長が登壇し、「市民の皆様からご信任いただいてから12年間、市政運営に全精力を傾けてきた。一例を挙げれば、医師不足、地域医療の確保という課題に対し、自治体病院機能再編成を推進したことで、一定の成果を残すことができた。市民の皆様をはじめ、議員各位のご理解とご協力のたまものであり、感謝申し上げます」などと述べました。

平山誠敏前市長は、8月14日、入院先のつがる総合病院で逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

議席の一部変更

第2回定例会開会日に、議場移転による議席の配置変更及び議員の所属会派の異動に伴い、議席の一部が変更されました。変更後の議席は次のとおりです。

議席配置図

13番 山口孝夫	14番 伊藤永慈	15番 加藤 磐	16番 木村清一	17番 稲葉好彦	18番 松野武司	19番 寺田武造	20番 福士寛美	21番 川浪茂浩	22番 桑田 茂	23番 三湯春樹	24番 工藤武則	25番 平山秀直	26番 葛西収三
1番 井上 浩	2番 花田 進	3番 鳴海初男	4番 木村 博	5番 磯邊勇司	6番 松本和春	質問席	7番 山田和宗	8番 木村慶憲	9番 成田和美	10番 吉岡良浩	11番 山田善治	12番 秋元洋子	
理事者席						演壇	理事者席						
						議長							

平成30年第3回臨時会

第3回臨時会が7月31日に開催され、佐々木孝昌市長から提出された一戸治孝氏を副市長に選任する議案は、採決の結果、賛成少数で同意しないことと決定しました。

議員ごとの賛否の状況は、11ページに掲載しています。

所属会派の異動

- 5月7日付け
桑田 茂 議員（無所属から至誠公明会へ）
松本 和春 議員（無所属から至誠公明会へ）
- 7月31日付け
山田 善治 議員（至誠公明会から無所属へ）



西日本豪雨災害に対する義援金について

西日本豪雨災害により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様方に心から御見舞いを申し上げます。

市議会では、このたびの豪雨により大きな被害を受けている被災市に対し、1日も早い復旧と復興を支援するための義援金として、青森県市議会議長会、全国市議会議長会を通じて、議員一人あたり5,000円を支出することとしました。

義援金は、時宜をみて被災地域の支援のために拠出されます。



クールビズの実施について

市議会では、6月1日から9月30日までの4か月間、クールビズ（ノーネクタイなど夏の軽装）を実施しています。

傍聴する皆さんも涼しい服装でご来庁ください。

COOLBIZ

リンゴ黒星病被害状況視察

経済文教常任委員会では、7月18日に市長、農業委員、県、農業共済組合及び農協と市内3カ所の園地を周り、リンゴ黒星病の被害状況を視察しました。市では今後被害農家への支援策を検討することとしています。



被害状況調査の様子①



被害状況調査の様子②

行政視察来訪

- 7月10日 埼玉県春日部市議会 8名
◆新庁舎について
- 7月12日 茨城県下妻市議会 9名
◆新市庁舎建設について
- 7月17日 京都府八幡市議会 3名
◆新庁舎建設に向けての取り組みについて
- 7月23日 青森県三沢市議会 11名
◆新庁舎建設について
- 7月25日 青森県平川市議会 28名
◆新庁舎建設について
- 8月20日 千葉県市川市議会 4名
◆五所川原圏域空き家バンクについて



春日部市議会行政視察の様子



東通村議会行政視察の様子

平成30年第2回定例会・第3回臨時会議決結果表

平成30年 第2回定例会

【賛否の分かれた案件】

議案番号	議席番号及び議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	賛成	反対	白票	議決結果					
		井上浩	花田進	鳴海初男	木村博	磯邊勇司	松本和春	山田和宗	木村慶憲	成田和美	吉岡良浩	山田善治	秋田孝子	山口洋夫	伊藤永慈	加藤磐	木村清一	稲葉好彦	松野武司	寺田武造	福田寛美	川浪茂浩	桑田茂	三渦春樹	工藤武則	平山秀直	葛西収三									
議案第74号	工事請負契約の締結について	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	7	0	原案可決				
議案第79号	教育委員会委員の任命について (木村 吉幸氏)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	白	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	6	1	同意	
議案第1号	治安維持法犠牲者国家賠償法の制定について国への意見書の提出に関する請願	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7	18	0	不採択

※(1)議長は採決に加わりません。(2)○は賛成、×は反対、白は白票(賛否が明らかでないもの)、欠は欠席。

【全会一致の案件】

議案番号	件名	議決結果
議案第 66号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第 67号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第 68号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第 69号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第 70号	平成 30 年度五所川原市一般会計補正予算(第 1 号)	原案可決
議案第 71号	五所川原市附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 72号	五所川原市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 73号	五所川原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 75号	財産の処分について	原案可決
議案第 76号	財産の取得について	原案可決
議案第 77号	市道路線の認定について	原案可決
議案第 78号	教育長の任命について(長尾 孝紀 氏)	同意
議案第 80号	十三財産区管理会財産区管理委員の選任について(矢本 良博 氏)	同意

平成 30 年 第 3 回臨時会

議案番号	件名	議席番号及び議員名																										賛成	反対	白票	議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26				
議案第81号	副市長の選任について(一戸 治孝 氏)	○	○	○	○	/	×	欠	×	×	×	×	○	×	白	○	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	8	14	1	不同意

※(1)議長は採決に加わりません。(2)○は賛成、×は反対、白は白票(賛否が明らかでないもの)、欠は欠席。

平成29年度政務活動費収支報告

議員の調査研究その他の活動に資するために、会派(所属議員が1人の場合を含む)に対して、議員1人あたり月額2万7千円の政務活動費を交付しています。平成29年度の収支状況をお知らせします。

平成 29 年度 政務活動費収支状況

(単位：人、円)

会派名	至誠公明会	市民の会	日本共産党	社会民主党	桑田茂	松本和春	計
所属議員数	16	6	1	1	1	1	26
交付額	5,184,000	1,944,000	324,000	324,000	324,000	324,000	8,424,000
支出額	1,996,827	1,799,516	236,309	366,024	172,626	167,844	4,739,146
支出額の内訳	調査研究費	909,086	1,599,365	0	69,843	0	2,578,294
	研修費	1,027,322	200,151	146,478	39,728	172,626	1,754,149
	広報費	0	0	20,133	40,900	0	61,033
	広聴費	0	0	20,732	0	0	20,732
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	9,548	11,556	0	21,104
	資料購入費	41,241	0	39,418	166,257	0	246,916
人件費	0	0	0	0	0	0	
事務所費	19,178	0	0	37,740	0	0	56,918

次回定例会の予定

8月28日(火)	本会議(開会)
9月3日(月)	本会議(代表質問・一般質問)
4日(火)	本会議(一般質問)
9月5日(水)	本会議(総括質疑、予算決算特別委員会設置、議案付託)
	予算決算特別委員会(組織会)
	常任委員会(議案審査)
9月6日(木) ～10日(月)	予算決算特別委員会(議案審査) [8日(土)、9日(日)を除く]
9月13日(木)	本会議(閉会)

※開会は午前十時を予定しています。
※日程が変更になる場合があります。
次回定例会日程が正式に決定されるのは8月下旬となりますので、市のホームページ等でご確認ください。

● お問い合わせ先……議会事務局

全国市議会 議長会
議員表彰

5月30日に開催された全国市議会議長会第94回定期総会において、9名の議員が永年在職の表彰を受けました。



✿ 在職20年以上

磯邊 勇司 議長
福士 寛美 議員
山口 孝夫 議員
稲葉 好彦 議員

川浪 茂浩 議員
寺田 武造 議員
松野 武司 議員

✿ 在職15年以上

秋元 洋子 副議長 伊藤 永慈 議員

※市町村合併前の町村議会議員としての在職期間は2分の1に換算して通算されます。

編集後記

新五所川原市長が7月9日に就任されました。
これからの4年間、学校給食無料化の早期実現をはじめ、様々な公約実現へ向けて、現場に走り、小さな声にも耳を傾け、心で受け止め実行するよう「ガンバッテ」ほしい。

(木村 清一)

議会だより編集特別委員会

委員長 山口 孝夫
副委員長 木村 慶憲
委員 木村 清一
委員 平山 秀直
委員 稲葉 好彦
委員 吉岡 良浩
委員 山田 和宗
委員 松本 和春

■発行／五所川原市議会 ■編集／議会だより編集特別委員会

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [五所川原市](#) [検索](#) → 五所川原市ホームページの関連サイト [五所川原市議会](#) をクリック

メールアドレス gikai@city.goshogawara.lg.jp

※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見は議会だよりに役立たせていただきます。



議会ホームページのQRコード